



「ほんもの」の出会いを大切に

21世紀美術館初代館長で元兵庫県立美術館館長の蓑 豊さんは、「自分のこどもを美術館に連れていく親の多くは、自分もこどものころ美術館で感動した経験がある」と語っています。自身がこどものころに受けた感動をこどもにもさせてあげたいという思いからではないでしょうか。

こうした「小さい頃に博物館や美術館を訪れた経験のあるこどもほど、大人になってからも自然に文化施設に足を運ぶようになる」ことは、美術館の世界などでたびたび語られているようです。「本物の作品」「本物の展示」「本物の音楽」・・・こどものときに出会った驚きや感動の記憶は、その後の人生のどこかで再びその扉を開いてくれるようです。こうしたことから美術館や博物館などは、単に作品を見る場所だけでなく「人の人生に美術や文化、芸術などの種をまく場所」ともいえます。

美術館などの芸術体験は、なんだか堅苦しいというイメージもあるかもしれませんが、目の前にある絵や展示を見て「すごいきれいだなあ!」「これは何?」「どうしてこうなっているの?」など、自然に湧き上がる自分の感情を大切にしてみてもはどうでしょうか。こうした気持ちを自分から確かめていこうとすることそのものが、「学ぶ力」を育てていきます。

今年の夏は、大阪の美術館にフェルメールの絵「真珠の耳飾りの少女」がやってきます。フェルメールの最高傑作の一つといわれる作品で、図鑑や教科書、テレビで一度は見たことのある作品だと思います。実際の大きさや質感を感じながら目の前で見る体験は、なかなかできないことです。この夏のおすすめの一つです。

また、学びの体験は美術館や博物館など室内で完結するものではありません。美しい星空を見上げることもこどもたちにとって素晴らしい体験の一つです。自分の五感をフルに使って本物を感じる体験を、この夏、ぜひ親子で体験してみてください。



オープンスクールありがとうございました

オープンスクールでは、「KDDI スマホ・ケータイ安全教室」の方に来ていただき、こどもたちと保護者の皆様で情報モラル教室を開きました。

情報モラル教室では、SNS を活用したコミュニケーションについて、「人の嫌がることは書き込まない」、「冷静になってよく考えてから書き込む」、「写真などの個人情報を投稿しない」などを説明していただきました。



今、こどもたちを取り巻く ICT 環境は日々目まぐるしく変化しており、こどもたちが iPad やスマートフォンの使用などで、日常的にインターネットや SNS に触れることが多くなってきています。この機会に、「個人情報の保護」や「ネットで知り合った人に会わない、やりとりをしない」、「相手が傷つく書き込みをしない」こと等について、お子さまと話す機会を持っていただければと思います。

黒豆の種植え、定植（3・4年生）

福井さん、JA の皆様、JA 青年部の皆様にご指導いただき、黒豆の種植えをしました。種を植えるときは種のおへそを下に向けることや、種を植える深さなどを教えてもらったあと、実際に種を植えていきました。こどもたちは、二人ペアになり、協力しながら作業をていねいに進めていきました。今年は、発芽率がよく、6月24日には、元気な苗をたくさん畑に定植することができました。秋の収穫がとても楽しみです。福井さん、JA の皆様、JA 青年部の皆様、ありがとうございました。



サツマイモの苗植え、みつば幼稚園との交流会（1・2年）

6月5日に老人会の皆様にお世話になり、サツマイモの苗植えをしました。大きなサツマイモができるように植え方のコツを教えてもらい、みんな上手に苗を植えることができました。「秋には、きっと大きなサツマイモが実っている!」と、楽しみにしているこどもたちでした。

また、6月9日には、みつば幼稚園のこどもたちと本庄小学校の1・2年生が交流しました。チーム分けは小学校のお兄さん、お姉さんが中心になり、上手にグループに分かれることができました。リーダーシップを発揮する1・2年生のみんなは、とても頼もしかったです。リレーをしたり、一緒に遊具で遊んだりして楽しいひと時を過ごしました。

